

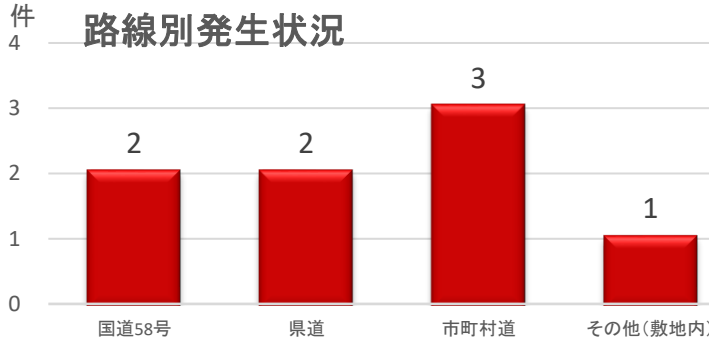
# 速度取締りの指針

種子島警察署  
【令和4年下半期結果】  
【令和5年上半期計画】

## 1 速度取締りの指針と交通事故の分析

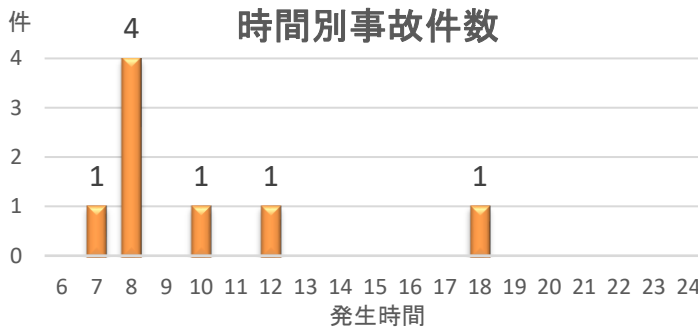
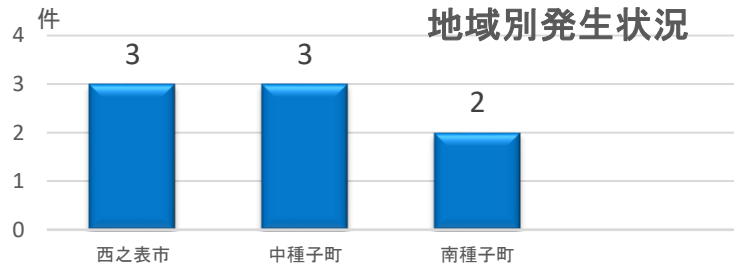
令和4年下半期(7月1日～12月31日)の種子島警察署管内での人身事故の発生状況を分析した結果に基づいて、速度違反を始めとする各種交通違反の取締り指針を定めるに当たり、取締りを強化する必要性のある路線、地域及び時間帯を選定して公表し、警察の行う取締りに対する皆様の御理解を図ります。

## 2 種子島警察署管内における人身事故発生状況



人身事故の路線別発生状況を分析すると、島内の主要な幹線道路である国道58号と県道、市町村道で偏りなく発生が認められます。今後も幹線道路を中心としながら、管内全域で取締りを実施する必要があります。

地域別の事故発生状況を分析すると、管内全域で平均的に発生しているため、管内全域において駐留警戒やレッドラン、交通指導取締りを実施する必要があります。



時間帯別の発生状況を分析すると、午前中(通勤時間帯)での発生が多い傾向が見られます。このことから、午前中を中心とした交通指導取締りや引き続き薄暮時間帯にかけての駐留警戒、レッドラン等の街頭活動を強化する必要があります。

## 3 種子島警察署の取締り重点 (令和5年上半)

速度取締り重点路線	理由
国道58号	下半期に発生した人身事故7件のうち2件が国道58号で発生しています。過去にも交通事故が多発している路線であり、種子島で最も主要な幹線道路であるため、引き続き重点的に速度取締りを実施していく必要があります。
その他の交通違反取締り	重点取締り違反等
管内全域	近年、社会問題となっている歩行者妨害違反の取締りをはじめ、重大交通事故に直結する飲酒運転、信号無視、一時停止違反を中心に、管内全域において取締りを推進し、交通事故抑止を図ってまいります。また、取締り時間帯は昼間を中心としますが、ゲリラ的に夜間取締りも積極的に行います。